

理事長所信

(一社) 鹿角青年会議所 2025 年度理事長予定者

大久保雄生

スローガン

拡く、大きく

・はじめに

1945 年 8 月に太平洋戦争が終結してから今年で 80 年を迎えようとしております。「新日本の再建は我々青年の仕事である」の志のもと立ち上がった青年たちの活動が日本全国に大きく拡がっていく中、この鹿角の地にも 1984 年に青年会議所が誕生し、そして昨年 40 周年という大きな節目を迎えることができました。

その際に掲げたスローガン「未来への号砲～新時代へ歩みだせ～」は 40 年の歩みを振り返るだけでなく、40 年分の想いを胸にさらに前へと進んでいく私たちの決意が込められております。

本年は 40 年の節目から歩み出す最初の一步になります。新時代に力強く JC 運動の輪を拡げていくためには、何よりも会員の数を増やさなければならず、そしてそのために我々は地域にとって、ステークホルダーにとって、そして何より所属するメンバーにとって、今まで以上に存在価値がある組織に成長させなければいけません。組織の成長は人の成長です。私は、今年一年でメンバーをより大きく成長させ、より価値ある青年会議所を拡げるため、本年の理事長職をお預かりする決意をいたしました。

・鹿角の地であっても

生まれも育ちも東京、両親そして祖父母にも東北にルーツを持つ人間がいない私は、今から 4 年前の 2020 年に生まれて初めて仕事の縁があって鹿角の地へ来ました。当時福島にて勤務していた私は、秋田出張の話聞いたタイミングでは鹿角と角館の区別もついておらず、もちろん知り合いなんて一人もいませんでしたし、鹿角青年会議所の存在も知りませんでした。そこから 4 年経ち、仕事と青年会議所を通じて、鹿角・秋田・そして東北に全国にこれだけ多くの仲間ができました。鹿角と角館の区別もついてなかった出不精の私は、もし JC 活動が無ければ秋田各地に行くことはなかったでしょうし、仲間ができることもなかったでしょう。もちろん仲間だけでなく、青年会議所の活動を通じて考え方やスキルなど、大いに成長することができました。

自ら飛び込み動くことでこれだけの出会いがあり経験ができるのです。自らの意思一つで成長し、世界を拡げることができるのです。

・拡大すること

近年、世の中の働き方が大きく見直され、企業にはコンプライアンスの遵守が強く求め

られるようになりました。それは当然のことではありますが、大きく環境が変わった企業は、特に若者に対する指導に苦慮し、ハラスメントを防ぐ観点からもかなり慎重な対応を手探りで進めています。他方、若者はよりコストパフォーマンス・タイムパフォーマンスを重視する風潮が強くなり、ワークライフバランスを重視した結果、今まで以上に個人の時間が重要視され、趣味や休暇の優先順位が高まっています。また、進学就職と一度の失敗も許されてこなかった若者たちは失敗を極端に恐れ、挑戦をしなくなっています。

世の中の風潮と世代の風潮、二つの相乗効果により、若者たちが何かに挑戦する意思と機会が大きく減少している、そんな世の中になったと感じています。次代を担う若い世代が何事にも挑戦しなくなれば、できなくなれば、日本の未来はどうなってしまうのでしょうか。

日本の未来をより明るく豊かなものにしていくためには、失敗を恐れず挑戦する若者が必要です。そして、若者が失敗を恐れず修練できる場が必要です。それが、私たち青年会議所です。このまちの、そして日本の未来のため、自らの意思で「修練」を行い、仲間と「友情」をはぐくみ、世間に「奉仕」できる仲間を増やします。そして、この修練場を次代に引き継ぐためにメンバーの輪を大きく広げてまいります。

・まちづくりをするということ

まちを良くしなければならない、ということはまちに何かしらの問題課題があることを意味します。そして、残念ながらそのほとんどは私たちだけで完全解決できるものではなく、まち全体での活動が必要になってきます。

では、私たちは何をすればよいのでしょうか。私たちは、まちを良くするためのきっかけをつくり、運動の旗振り役となることこそが役目と考えます。

では、そのきっかけとは何か。それは、まちに住む人がどんな些細なことでもよいのでまちに今以上の興味を持つことと考えます。その興味がまずはJC運動につながり、いずれは大きなうねりとなってまちをより良い方向に導くでしょう。持つ興味はどんなことでもいいのです。数は力です。

まずは昨年のインバウンド事業を引き続き推進するとともに、いろいろな観点からまちの魅力を再発掘する事業を行い、このまちに興味を持つ人の輪を広げてまいります。

・最後に

今年のスローガンは「拡く、大きく」です。

「拡」という字には、「自らの意思」で「積極的」に「広げる」という意味があります。メンバー一人ひとりが自らの意思であらゆることに挑戦し、自らの器を大きく広げていくこと。あわせて、周囲を巻き込んで地域をよくするための活動をより大きく広げていくこと。

その積み重ねこそが明るい豊かな社会を作ると信じて、今年一年邁進してまいります。